

平成29年度新規発足

未来社会創造事業

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

募集説明会

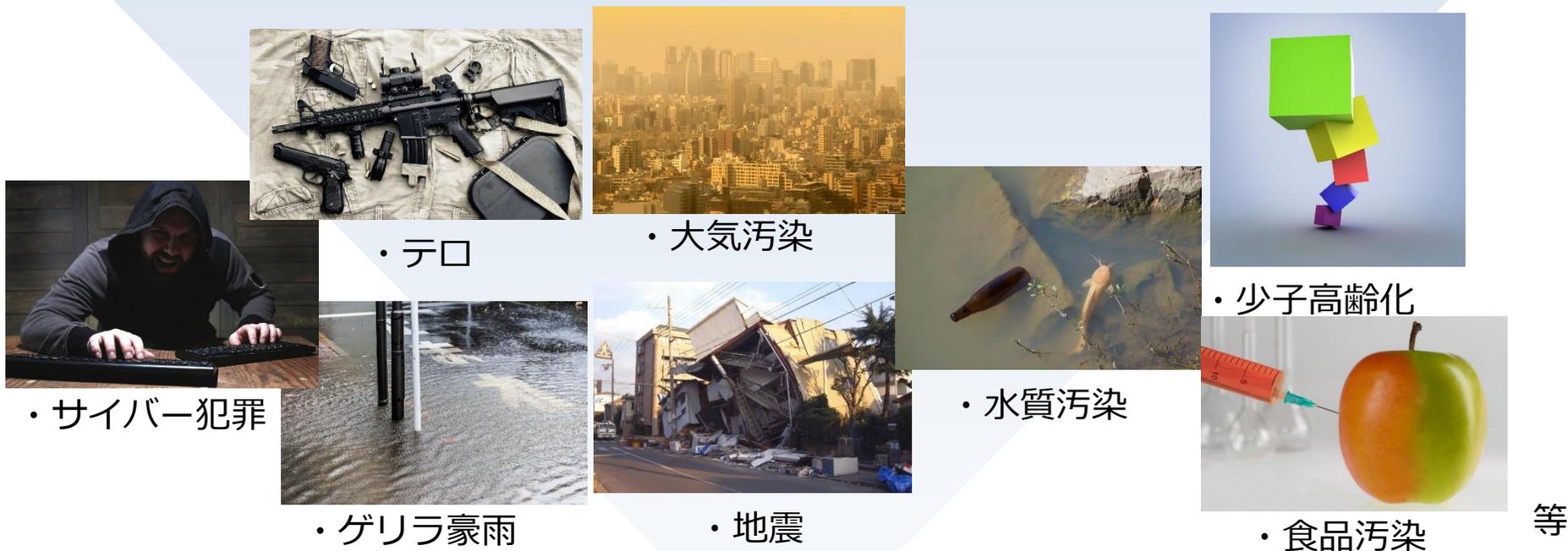
平成29年6月



科学技術振興機構

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

社会の変化にあわせ、様々な脅威に事前に対処していくことが必要



「誰もが守られていると実感できる社会」の実現を目指し、
平成29年度 重点公募テーマを設定

- ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築
- ヒューメインなサービスインダストリーの創出

本領域のキーワード

提案に使用された用語の機械抽出結果（相関降順、上位30）

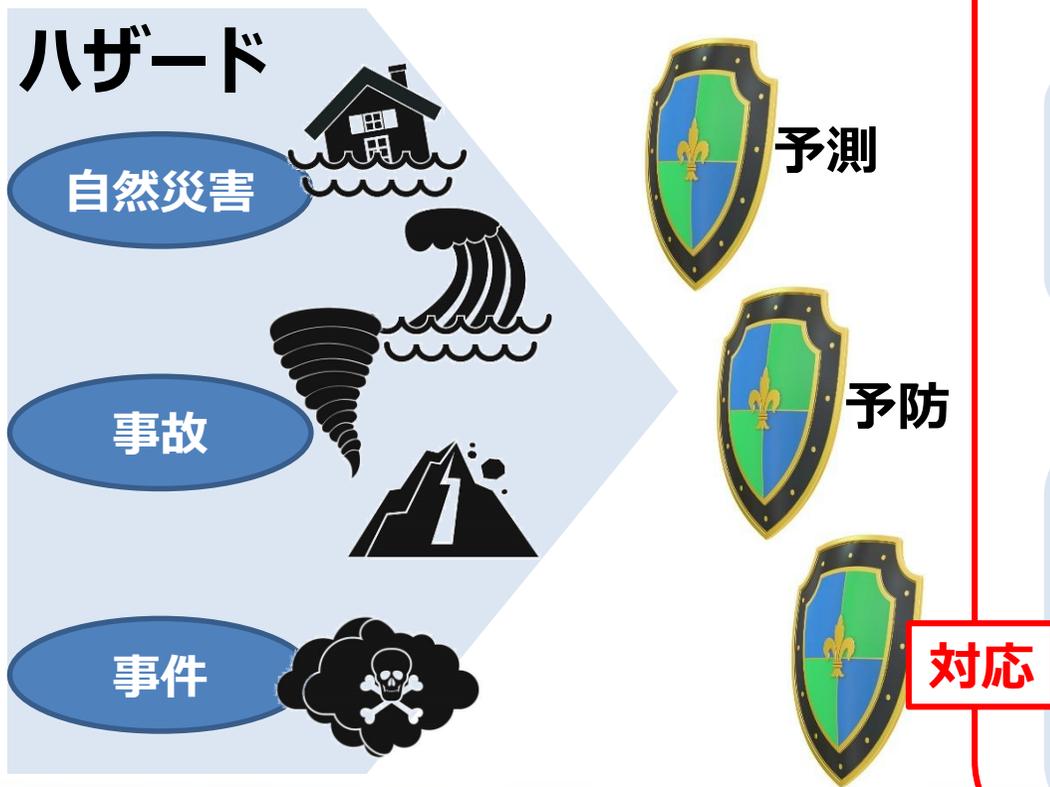
順位	用語(名詞)	提案数	相関	順位	用語(名詞)	提案数	相関	順位	用語(名詞)	提案数	相関
1	災害	109	1.55	11	事故	44	1.25	21	建物	30	1.11
2	地震	67	1.52	12	予測	74	1.20	22	リスク	78	1.10
3	防災	59	1.40	13	検知	18	1.19	23	データ	161	1.10
4	豪雨	25	1.39	14	台風	13	1.15	24	準備	17	1.10
5	被害	69	1.39	15	安心感	13	1.15	25	被災	17	1.10
6	避難	29	1.38	16	テロ	19	1.15	26	変化	70	1.09
7	復旧	22	1.35	17	情報	191	1.13	27	把握	40	1.08
8	自然災害	44	1.33	18	津波	18	1.12	28	熊本	14	1.08
9	気象	30	1.30	19	巨大地震	12	1.12	29	救助	14	1.08
10	災害時	45	1.26	20	復興	20	1.11	30	地震動	11	1.08

提案数：提案に含まれる用語数(同一提案の重複はカウントしない)

相関：領域毎に特徴的とみなされる数値で標準は1.0。数値が大きいほど領域との相関が高い。

ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

ハザードの予測・予防・対応フェーズのうち、対応フェーズに焦点をあて、組織の判断の精度を向上させるとともに、ひとりひとりに確実に安全・安心を届けるナビゲータを構築



科学技術により、このプロセスを高度に支援する技術を確立



組織が判断する



個人が行動を起こす



自分の安全確保
社会の安全確保

求める研究開発課題

- ⑤を必須とし、社会実装をイメージした研究開発を構想して下さい。
①～④では、これまでの研究成果の活用も歓迎します。
- 対象とするハザードを記載してください。単一では無く、複数もしくはすべてのハザードに実装できるような提案を歓迎します

⑤ ①～④を統合する (システム化)

① 各種情報をタイムリーに観測・計測・測定し、収集する
(予測・予防)

② 異種情報を統合する
(情報処理)

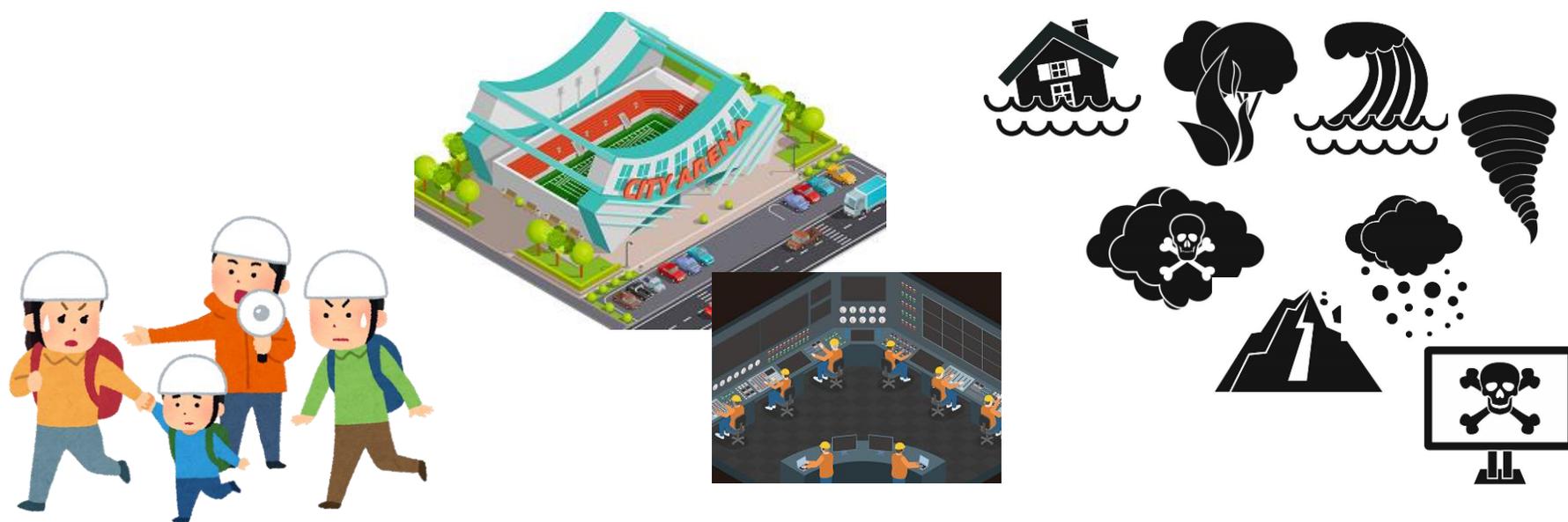
③ 統合された情報から
選択肢を導く
(情報分析)

④ 選択肢をタイムリーに確実に個人に届ける
(情報インフラ・通信デバイス)

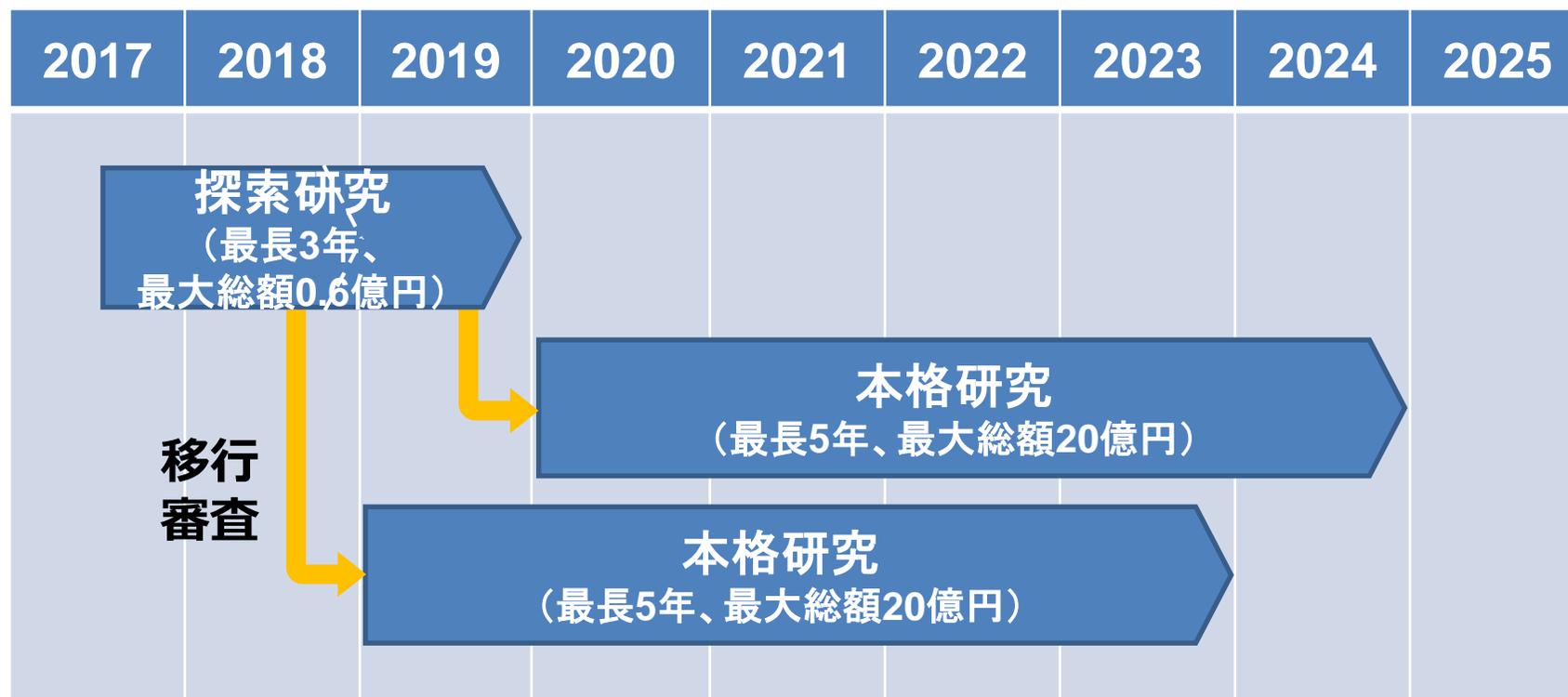
皆様の想像力を補助する例として・・・

ひとりひとりに届く危機対応
ナビゲーターの構築

ゲートフリー・リアルタイム入退場検査と異種情報の統合処理・分析
技術の融合により、ガードマン（警備員）ひとりひとりに、それぞれ最適
な対処方法を伝達する危機対応ナビゲーターの構築



これらにとらわれる必要はありません！



★本公募では、探索研究の提案を求めます★

探索研究では、「危機対応ナビゲーター」の実現可能性を見極めるために、本格研究にあたって必要な要素技術の検証、POCの社会・経済インパクトの検証、社会実装にあたっての課題把握ならびにPOC達成後に必要な活動計画等を実施します。また、複数の**探索研究**を統廃合し、本格研究課題を形成することもあります。

ヒューメイン※なサービスインダストリーの創出

人と人との繋がりを促進することや、人の周囲の環境を適切に制御することなどにより、誰もが安全・安心ひいては快適を実感することができるヒューメインなサービスを実現

※ヒューメイン (humane)
人道的、人情的という意味や、
人を高尚にするという意味を持つ。



- 科学技術を活用した**新しいサービス**の提案を求めます。
- 高度な科学技術によるサービスが現在の生活に自然に（意識することなく）当たり前前に存在することを目標とします。
- サービスを受ける側が技術に適応するためにライフスタイルや考え方を変えたり、新技能を習得したりする必要がないヒューマンインターフェースを想定します。

提案するサービスが、なぜヒューメインたりうるかを記載してください。

皆様の想像力を補助する例として・・・

ヒューメインな
サービスインダストリーの創出



これらにとらわれる必要はありません！



「ヒューメインなサービスインダストリーの創出」では、新サービス創出の成功確率を高めるため、探索研究段階において短期間のチャレンジを繰り返して、より良い可能性を探ります。

本テーマにおける探索研究の主目的
= 研究成果をサービスにするために何が必要かを把握すること

選考基準（2テーマ共通事項）

1. 目標は明確で概念実証（POC）を目指すものか

2. ハイインパクトかどうか

→本領域ではここを重視します。

「様式2 2. 本研究開発課題のPOCを設定した理由」に、
2030年の社会実装イメージを明確かつ具体的に記載ください。

3. 挑戦的かつリスクが理解されているか

4. 研究開発計画・構想が妥当か

研究開発の推進にあたって（2テーマ共通事項）

- 異分野融合や、企業とアカデミアの連携など、研究体制のダイバーシティを活用し斬新なアイデアを取り込むことを重視します。
- 運営メンバーによる研究計画の確認やサイトビジット等を通じて、領域一丸となって、「誰もが守られていると実感できる社会」の実現を目指します。
- 探索研究から本格研究への移行に際しては、研究課題に参画する個別のグループや研究テーマ等の組み替え、中止等、体制の再構築を行うことも想定しています。

**皆様からの鮮烈かつ意欲的な挑戦を
楽しみにお待ちしております。**